

会報

社会参加で生きがいづくり

さいたまシルバー



目次

「芝川」

- 定時総会ご挨拶..... 2～3
- 平成28年度 定時総会・アトラクション..... 4～6
- 新役員の紹介..... 7
- 各種講習・研修会..... 8～9
- 就業会員の声..... 10～11
- 発注者の声..... 11～12
- 地域班活動・親睦互助会..... 13～15
- 事故関係・編集後記..... 16

第30号

2016.8.1

公益社団法人 さいたま市シルバー人材センター

〒330-0801 埼玉県さいたま市大宮区土手町1丁目213番地1

さいたま市大宮ふれあい福祉センター 内

Tel:048-669-0303 Fax:048-669-0305

ホームページ: <http://www.sjc.ne.jp/saitama-sc/>





定時総会ご挨拶

公益社団法人 さいたま市シルバー人材センター

理事長

佐伯 鋼兵

本日、ここに平成28年度定時総会を開催いたしましたところ、多数の会員の皆様にご出席をいただき、誠にありがとうございます。

また、公務ご多忙中にもかかわらず、さいたま市長清水勇人様、市議会議長桶本大輔様、市保健福祉局長藤原陽一郎様にはご臨席を賜り、心から感謝申し上げますとともに、日頃から当センター運営に格別なるご指導、ご鞭撻を賜っておりますことに、会員を代表いたしまして厚くお礼を申し上げます。

シルバー人材センターは、「福祉の受け手から社会の担い手」として、生涯現役を目

指し、今まで以上に地域との結びつきを強めていかなければならないと考えております。しかしながら、国内の景気動向を見ますと、明るい兆しが見える一方で、まだまだ持続的な成長に結びついておりません。当センターの取組としてはしましては、昨年7月にはさいたま市と「空き家等の適正管理の促進に関する協定」を締結することにより空き家管理業務を実施しました。また、一般労働者派遣事業も積極的な推進を図り、会員の皆様の就業機会の拡大を図ってまいりました。こうした中で、昨年度の契約金額につきましては17億2373万円と7

年ぶりの増加という結果を出すことができました。これも会員皆様のご尽力とご協力、そしてさいたま市をはじめ関係機関のご支援によるものと重ねて感謝申し上げます。

これからも、さいたま市との連携を密にしながら、指定管理者制度への参入も視野に入れた開拓活動をはじめ、国の施策として実施の「高齢者活用・現役世代サポート事業」をさらに推進し、派遣事業も積極的に取り組んでまいります。また、今後実施される介護予防・日常生活支援総合事業のニーズに対応した会員増強にも努め、様々な地域ニーズに応えてまいりたいと考え

ております。

そのため、さいたま市をはじめ、関係諸団体の皆様方におかれましては、シルバー人材センターが、国や自治体が果たすべき役割の一翼を担っておりますことを十分にご理解いただき、引き続き仕事の発注等におきましても絶大なるご支援とご協力をお願い申し上げます。

センターを取り巻く環境は、今後ますます変化し、時代に対応した取組が求められる中、社会環境の変化に即した事業展開を進めてまいりますので、会員の皆様におかれましても、引き続きご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

結びに、ご多用の中、ご臨席を賜りましたご来賓をはじめ、会員皆様方のご健勝とますますのご活躍をご祈念申し上げます。挨拶とさせていただきます。



定時総会ご挨拶

さいたま市長 清水 勇 人

ただ今、ご紹介いただきました、さいたま市長の清水勇人でございます。

本日は平成28年度定時総会にお招きをいただきありがとうございます。

日頃から佐伯理事長をはじめ、さいたま市シルバー人材センターの皆様方に、市の様々な事業や市民の皆様のための様々なサービスに多大なご協力とご支援をいただいておりますことに、改めて感謝と御礼を申し上げます。

さいたま市が誕生してちょうど15年という節目の年になりました。多くの会員の皆様をはじめ、市民の皆様の多大なお力添えとご協力により、

市も順調に成長発展を続け、人口は約127万7千人になりました。昨年と比較すると1万人以上増えたことになり、さいたま市は、福岡市、川崎市に次いで3番目、大阪市や名古屋市、横浜市よりもさいたま市の方が人口が増えている状況です。

一方、あと10年位は人口増が続きますが、今後、団塊の世代の皆様の高齢化に伴い、急速に高齢化が進んでいきます。そこで、昨年「さいたま市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を作り、国が進める「一億総活躍社会」を目指し、高齢者の皆様の積極的な社会参加や働く機会の創出等、皆

様に大いにご活躍をいただけるよう、生涯現役を掲げて、取組を強化してまいります。

会員の皆様には、施設の指定管理や空き家対策等、市の様々な取組にご協力をいただいております、おかげをもちまして、さいたま市を住みやすいと言っていたただける市民の割合が約83%に上昇しました。私達は、東京オリンピック・パラリンピックがある2020年までに90%以上にすることを目指して、全庁をあげて取り組んでいるところです。このためには、会員の皆様にも積極的にご活躍をいただくことが不可欠ですので、これから皆様としっかりと連携

をしたいと考えております。

11月9日には「いきいきセカンドステージ」と銘打ち、シルバー人材センター、シルバーバンク、シニアユニバーシティの3者の連携イベントを開催いたします。この開催をきっかけに、シルバー人材センターの受注の拡大、会員の増加、活性化が図られることを期待しております。

健康寿命を伸ばし、多くの皆様が健康で長生きをし、生きがいをもつて過ごして行ける地域社会を、皆様と作り上げて行きたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

最後になりますが、シルバー人材センターの更なる発展と、会員の皆様がますますお元気でご活躍されることを心からご祈念申し上げます、ご挨拶にかえさせていただきます。

平成28年度 定時総会が開催されました

6月23日、さいたま市民会館おみや大ホールで平成28年度定時総会が開催されました。

当日は585名の来場があり、委任状と合わせると2700名を超える出席数となりました。

司会を内藤勝義会員が務め、佐伯理事長による挨拶、来賓の方々によるご祝辞をいただきました。その後、佐伯理事長より会員、団体、役員の表彰があり、表彰状が授与されました。

引き続き総会に入り、議長には濱野茂副理事長が選出されました。報告事項として、平成27年度の決算書類の監査報告と平成27年度事業報告をおこないました。また決議事項として、平成27年度収支決算報告の承認および役員の選任について審議され承認されました。



議長を務める濱野茂副理事長



挨拶をする佐伯鋼兵理事長

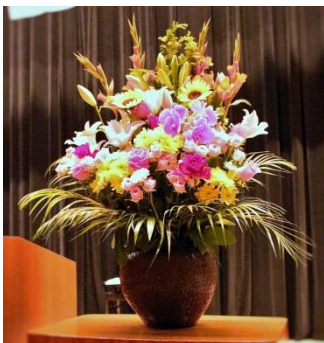
来賓の皆様



桶本大輔市議会議長



清水勇人市長



このほか、公益財団法人いきいき埼玉理事長茂木皇治様より、ご祝電をいただきました。



さいたま市保健福祉局
藤原陽一郎局長



決議事項に続き、その他の報告事項として、3月の理事会で承認された平成28年度事業計画及び平成28年度収支予算、事故取扱基準についての報告をおこないました。

定時総会終了後は、会員によるアトラクションと、プロ歌手である千花有黄さんによる歌謡ショーで盛り上がりました。

アトラクション終了後、お楽しみ抽選会がおこなわれ、3名の方に豪華景品が贈られ、その他出席された会員の約半数の方にお米が贈られました。

表彰者の皆様



一般表彰

公益財団法人さいたま市公園緑地協会
理事長 井原誠一郎様

左から
濱野 茂 副理事長
小島一夫 理事 新藤うめ 理事
関野茂夫 理事 蘭田 優 監事



会員表彰

左から
磯部紀久子会員（大宮） 齋藤ミヤコ会員（浦和）
松本清次郎会員（与野） 渡辺 今治会員（岩槻）



役員表彰

- 「会員の増強」「就業の場の確保」「安全・適正就業対策の推進」「運営体制の強化」を計画の4本柱として、次の事業に取り組んでまいります。
- 1 会員増強と就業開拓
 - 2 普及啓発の推進
 - 3 安全・適正就業の推進
 - 4 派遣事業の推進
 - 5 職群班組織の充実
 - 6 社会奉仕活動の充実
 - 7 地域班組織の充実
 - 8 健全な財政運営に関する検討
 - 9 理事部会の見直し
 - 10 中・長期計画策定委員会の設置

平成28年度事業計画

総会終了後のアトラクション



渡辺貢作会員の歌



三品信子会員
グループの踊り

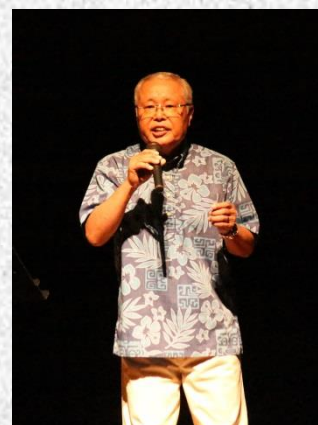


篠田克明会員グループのコーラス



渡辺忠樹会員のハーモニカ

千花有黄



沖田正義会員の歌



歌謡ショー



新役員のご紹介

新役員の方々をご紹介します。
皆様よろしくお願いいたします。



(前列右より)

細井政勝 理事
小島一夫 監事
大郷 隆 理事
地主英夫 理事
大矢幸子 専務理事
佐伯鋼兵 理事長
片桐健司 副理事長
持田晶子 監事
生澤富代 理事
畑佳一朗 理事

(後列右より)

鈴木幸彦 理事
野本久夫 理事
宇田川昌宏 理事
永島 勇 理事
鈴木英俊 理事
中野孝司 理事
高橋和恵 理事
酒井秀雄 理事
江森信行 理事

退任挨拶

平成28年度定時総会をもちまして理事を退任されました小島一夫様・新藤うめ様・関野茂夫様・蘭田優様を代表して、共に退任されました前副理事長の濱野茂様より、ご挨拶をいただきました。

私は平成20年6月に理事に選任いただき、本日4期8年で退任いたしました。平成19年度は、20億8400万円の実績を記録いたしました。

その後はリーマンショック、東日本大震災に加えて、シルバーの就業形態(請負)にふさわしくない就業からの撤退と厳しさは増大し、理事会の中に財政運営検討委員会を設け、できる限りの経費削減をいたしました。

27年度決算は7年振りに、前年比約4700万円のプラスとなり、幾分気が楽になったと思います。27年度より埼玉県シルバー人材センター連合が派遣元である一般労働

者派遣事業も積極的に実施し、就業の場の確保に努めました。

一億総活躍社会、生涯現役、健康長寿社会の実現を国を挙げての目標にしている今、シルバー人材センターがそれらの受け皿となり、地域社会においての生きがいづくりや就業の確保に寄与するものと確信しております。

最後に、ご支援ご協力いただきました会員、職員の皆様に感謝申し上げますと共に、会員の皆様のご健勝と、ますますのご活躍を祈念申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。



各種講習・研修会

これらの講習や研修が、平成27年度下半期に実施されました。

市民向け講習

① 料理講習会

3月29日 28人参加

会場・浦和ふれあい館

② 筆耕研修

3月29日～30日 23人参加

会場・浦和ふれあい館

会員研修・講習

会員の技能および資質向上を図る事業です。

① パソコン研修

エクセル入門

10月28日～30日 20人参加

会場・与野事務所

ワード入門

12月2日～4日 16人参加

会場・大宮事務所

エクセル入門

1月20日～22日 19人参加

会場・大宮事務所

② ハウススクリーニング研修

11月6日 19人参加

会場・浦和事務所

11月18日 18人参加

会場・大宮事務所



③ 認知症サポーター養成講座

11月16日 27人参加

会場・与野事務所

④ 料理講習会

12月16日 24人参加

会場・与野本町コミュニティセンター



⑤ コンプライアンス研修

2月19日 70人参加

会場・ふれあい福祉センター

⑥ 救命講習

3月9日 18人参加

3月15日 7人参加

会場・ふれあい福祉センター



⑦ 襖班スキルアップ研修

3月16日 23人参加

会場・三室シルバーワークプラザ



⑧ 植木（松）剪定講習

3月16日 29人参加

会場・与野南小学校



⑨ 植木安全講習

3月15日 86人参加
会場・見沼グリーンセンター



会場はすべて高齢者生きがい活動センターです。

① 傾聴ボランティア養成講座

10月16日～11月16日
33人参加



③ 障子の張替え研修

3月3日 14人参加



④ 写経講習会

3月7日～15日 19人参加



高齢者 生きがい活動 センター事業

さいたま市内の高齢者に対し、各種研修及び技術指導を行うことにより就労を支援します。高齢者の豊かな経験、知識及び技能を活用した地域活動を支援し、生きがい活動の場を提供することにより、高齢者の生きがいづくり及び健康づくりを促進するための事業です。

② パソコン講座

第4回 初めてのパソコン
1月25日～28日 20人参加
第5回 ワード入門
2月2日～5日 20人参加
第6回 エクセル入門
3月1日～4日 20人参加

講習会・研修会 のお申込みについて

各種講習会、研修会についてのご案内は、毎月発行している「会員ニュース」や「市報さいたま」に掲載されます。

お申込みについては、講習会や研修会ごとに内容や会場が異なりますので、それぞれご確認のうえ、掲載された申込み先までお願いいたします。

受講希望者が定員を超えた場合は抽選となりますが、就業に必要な技能と知識を身につけられますので、皆様の積極的な参加をお待ちしています。

就業会員の声

大宮会員の篠沢 弘さん

しのさわ ひろし

篠沢さんは、大工・リフォーム作業や刃物研ぎなどで17年間と永きに亘り活躍されている会員さんです。特に、大宮事務所の独自事業として「刃物研ぎ班」の立ち上げに尽力され、現在は大宮区役所近くのシルバー人材センター下町作業所を主な持ち場として、毎週水曜日に刃物研ぎ作業をしています。その作業所を訪ね、お話を伺いました。



刃物研ぎ班の研ぎ師は殆ど大工さん出身者ですが、篠沢さんだけがサラリーマン出身です。研ぎ師となつたきっかけは定年後大工学校に3年通い、生来の手先の器用さを生かして各種刃物研ぎの魅力に目覚めたとのことです。

現在研ぎ師は6名おりますが篠沢さんが一番の若手、なんとその年齢は今年79歳と聞きビックリ。

お話を伺っている最中にもお客さんが数名見え、皆さん常連さんらしく気軽にいろいろなお話をしていました。篠沢さんは「この様に来ていただく皆さんと、いろいろなことをお話するのが一番の楽しみです」と話してくれました。

経歴を伺いますと、中学生の頃は卓球で全国大会出場の経験、将棋は5段の腕前、更に指先を動かすことはボケ防止になると考え、一年前からピアノを習い近くその発表会を池袋のホールで行うと聞き、またまたビックリ。

これからお客さんとの会話を楽しみながら、益々お元気に活躍されますことを願っています。

(取材・津島編集委員)

浦和会員の岩下 政三さん

いわした まさみ

今回訪問した岩下政三さん(68歳)は団体職員勤務を経たあと、6年前にシルバーの会員になり、

興味のある植木班を希望しました。今年の4月からは前任者のあとを受けて、10人の会員のグループ長に就任しました。



出向いて打ち合わせをしたり、作業計画や就業報告書の作成に時間を割いているということです。「事故は絶対に起こしてはいけません。一日の作業が安全に終了するよう、十分すぎるほど気を遣います」

植木の仕事は季節や天候に左右されます。土日祝日は作業をお休みにしていますが、5月半ばから年内いっぱいには仕事の注文が立て込み、天候やお客様のご都合によつては日程調整の難しい面が多々あると話してくれました。とくに降雨により作業が中止になる場合は、お客様と調整のうえ、延期日を決め、グループの会員に計画変更を伝えます。

グループ会員の就業ローテーションを組む際には、希望を聞き、作業量が公平になるように気を付けます。ほかにもお客様のお庭に

毎年行われるさいたまシルバー人材センターの「植木安全就業研修」には全員が参加するようにしているそうです。

「お客様に剪定した樹木を見てもらい、喜んでいただけることが第一です。それとともに安全に作業が終えられれば、仕事を通じて達成感を感じることが出来ます」

それらの言葉から、岩下さんの誠実な姿勢がうかがわれます。ソフトボールチームに所属し、風景写真を撮るのが趣味だそうです。これからもご活躍を期待します。

(取材・鈴木編集委員)

岩槻会員の久保田 吉広さん

6月のはじめ、さわやかな晴れの日、久保田さんをご自宅にお尋ねしました。朝の仕事を終えて一休みされたところでした。現在は、朝5時30分から9時30分、岩槻駅近くの駐輪場で自転車整理をなさっています。3人交代で一日一人、日曜・祝日もないお仕事です。市民の方が通勤や買い物に利用している駐輪場で、止められた自転車をきちんと並べ、次の方が置きやすいように、また帰りに取り出しやすいように整理しています。仕事は、機材使用や高所作業などはありませんが、安全にはいつも注意していることです。例えば、自転車を整理している時、後からきた市民の方と接触する、また自転車のスタンドの跳ね上げで脛に怪我をするなどの危険が隠れているとのこと。「仕事に集中することも大切だが、常に周囲に注意を払うことも大切」というお話でした。班長として班員の健康状態に気を配ったり、仕事の行き帰り

の交通安全にも注意するよう伝えたりしているそうです。

とても健康そうです。健康管理の秘訣は？と伺うと「カラオケと畑仕事」というお答えでした。休日は、朝から夕方まで畑にいることもあるそうです。「これからの季節、ナスやキュウリ、トマト、そしてスイカも楽しみです。じっとしているのはダメですね」と明るい笑顔でお話されていました。自転車整理以外にも、祭りなどのイベントで準備や片付けを頼まれたり、安全対策員も頼まれて6年になるそうです。カラオケ大会へ出場依頼などもあるそうで、周囲から頼りにされ、充実した毎日のご様子でした。(取材・島村編集委員)



医療法人 島田医院様

島田医院は、大正2年(1913年)に現在のさいたま市中央区本町にある円乗院正門近くに島田清平医師により産科医院として開業。今日まで四代にわたり継承され、103年の歴史を誇る医院です。当院の三代目でもあります薬剤師兼事務長の田口久美子様を訪ね、お話を伺いました。

発注者の声

当院は、昨年10月に創業の地から与野本町駅西口の目の前にリニューアル移転、三階建ての医院は駐車場から段差のないバリアフリーのエントランスを入ると待合室は広々として、患者さんへの細かい心遣いを感じられる落ち着いた院内です。

昨年のリニューアル開業からシルバーの女性会員3名が交替で、休診時間や休診日に訪れる面会者の受付業務を担当しています。医院には妊産婦さんや新生児が入院されていますので、面会者に対

しての受付には衛生面とセキュリティ面について、特に注意を払っているとのこと。

その受付業務の重責をシルバー会員が担っている姿に、事務長さんは「皆さんとても真面目に、仕事も確実にしていただき感謝しています。安心してお任せできます」と100%信頼されていることに、同じ会員の一人として誇らしく感じました。

これからは島田医院様には、地元に着した医院として、更に代々継続されますことを心から念願しております。

(取材・津島編集委員)



さいたま市公園緑地協会 様

お訪ねした公益財団法人さいたま市公園緑地協会は昭和56年に都市公園等の運営管理を通して、地域社会の健全な発展と自然環境の保護、整備を行うことを目的として発足しました。現在、市内の公園やプールなど900を超える施設を管理しています。

さいたま市の合併以前からセンターとは取引をいただいております、今ではそのうちの31施設にシルバーの会員110名が清掃業務、門扉開閉業務などでお世話になっています。

浦和区・南区・桜区・中央区の無料公園施設長の鈴木康聡さんが次のように話してくれました。

「地域住民でもあるシルバーの会員の方々に、地域の公園の管理に携わってもらうことは意義があります。公園への愛着を感じても



らえ、懇切丁寧な仕事により、近隣住民や来訪者ともうまく付きあってくれています」

「高齢者の就業や地域経済の観点からも、センターはとても重要な依頼先です。管理施設は年々増えており、それにつれてお願いする業務量も増えています。今後も、健康で意欲のあるシルバー世代の皆さんが、生きがいを感じながら働いていただければと思っております」

「これからも安心で安全を感じられる公園管理を、一緒に目指していただきたいと思います」と有難いお言葉をいただきました。

28年度のさいたま市シルバー人材センターの定時総会では、公園緑地協会の長きにわたる顕著なご功績に対して一般表彰を受けられました。

これからもよろしく願います。（取材・鈴木編集委員）

岩槻まきば園 様

社会福祉法人隼人会「まきば園」は、老人ホームというイメージを覆す明るさ、開放感を感じました。一步入るとホテルのフロントのような受付とワークデスク。花や置物、鮮やかな色彩のハワイで購入した絵やパッチワーク、アンティーク調の椅子、そして熱帯魚。職員は全員アロハシャツ姿の制服。開園して12年ということでしたが、きれいで掃除も行き届き、新築マンションのようです。明るい雰囲気の中で、施設長の森田さん、介護サービス課主任の遅沢さんにお話を伺いました。

シルバー人材センターに仕事を依頼して5年になるとのことです。当初は2人、現在は4人のシルバー会員が清掃スタッフとして働いています。9時～11時半までの2時間半、3つのフロアに分かれて掃除しています。掃除担当の職員さんもいらっしゃるそうで、分担して清掃をしているそうです。シルバー会員も職員と同じアロハシ

ヤツ姿で全個室80室、他に短期宿泊用の部屋22室、フロア、トイレなどの清掃を行っています。「一生懸命やってもらっている」「あいさつ、相談や連絡などもしっかりできている」「個室の清掃なのでお客様からいろいろなお話をお聞きする場合もあるようだが、お客様の様子を伝えてもらう時もあり、助かっている」とのお話でした。

施設では、様々なイベントを企画し、介護を工夫されているとのこと。スタッフの皆さんの明るく生き生きとした様子が、とても印象的でした。（取材・島村編集委員）



地域班活動

浦和区 第三地域

地域長 畑中 数雄

浦和第三地域には4つの班があり、平成28年5月現在106名の会員で構成されている。毎月のシルバー人材センター会員ニュースの配布が大きな仕事だが、配布時に班長と会員の談話を活発にするように話しているがなかなかうまくいかないものです。2か月に1回班長会を開催、班の活動状況、全員集会の内容等を検討している。全員集会としては毎年講習会1回、レクリエーション行事1回実施することになっている。平成27年度の講習会は「後期高齢者医療制度の保険料と問題点」をテーマに埼玉県県の国保医療課の主査の方をお願いして実施、レクリエーション行事は「歩いて巡れる与野七福めぐり」を実施した。最近2、3年の例では「成年後見人制度の基本

知識」「振込詐欺に関する知識と理解」をテーマの講習会、「見沼田んぼ散策とヘルシーランドで懇親会」のレクリエーション行事を実施した。今年度も2か月に1回の地域長、班長会議で講習会とレクリエーションの2つのパターンで全員集会を実施する予定で、内容を検討中である。会議は喧々諤々だが5人のメンバーでの懇親会は楽しく良い地域活動だと自己評価している。



大宮区 第二地域

地域長 石井 正夫

大宮区第二地域はJR高崎線を境にして大宮区の西側全地域で会員数は8班175名です。

年間予定として班長会議4回、奉仕活動1回、地域会議2回を開催することとしています。27年度としては、班長会議をそれぞれの各事業計画について検討打合せを行ないました。奉仕活動については従来、公園、街路樹等の植樹帯の雑草取りを行っていましたが、

市の委託業者との兼ね合いもあり中止とし今後の検討課題としました。地域会議については1回として、さいたま市出前講座の「ご存知ですか？〈介護保険制度〉について大宮区役所高齢介護課の職員の方に説明していただきました。我々高齢者にとって年金から割に高額な介護保険料が差し引かれているが、介護保険の利用についてや手続きなどよく分からず関心が高く、とても参考になりました。第2回目は「怪我の予防と応急手当の必

要性」について市消防局救急課松澤係長に説明していただきました。我々会員が仕事の行き帰り等自転車で転んだりした場合の話などとても参考になりました。新年度についても会員の日常生活や仕事との係り合いのある問題について地域会議で取り上げ充実させていきたいと考えます。

平成28年度版 出前講座



あなたの「知りたい」に
こたえます！



親睦互助会

全議案満場一致で可決成立

大宮支部 田島 務

親睦互助会大宮支部「ふれあい会」の平成28年度定期総会が市民会館おみや小ホールにて6月16日(木)午後2時から小山大宮事務所長をお招きして開催。雨が心配されましたが幸い傘の出番はなく、会員70名の参加を得ました。まず、奥田会長が挨拶、続いて小山所長に挨拶、現況報告を賜りました。続いて議長に元理事の田中康資様を選任。

会長から毎月1回開かれた役員会の内容報告。年2回、4月に恵林寺、11月に袋田の滝方面への日帰り旅行の報告。シルバー人材センターでは、平成24年度の公益社団法人化に向けて23年度よ



り親睦互助会への助成金の廃止。これに伴い「ふれあい会」では悩みなながらも直ちに定期総会の隔年開催を提案決定、できた隙間を「ふれあい会ニュース」で通告。

クラブ活動(年3回グラウンドゴルフ大会等)の報告。

地域親睦会、同好会への助成について報告。

西区2、北区3、大宮区2、見沼区3計10地域親睦会へ助成。

地域内同好会グラウンドゴルフ、カラオケ、そば打ち、歩こう会へ助成。

収支予算決算は徳丸会計担当から報告。

今年度の予算、事業内容は昨年度とほぼ変わらず。全体として、活発な質問ご意見を戴き、慎重審議の結果、全3議案全てで満場一致、可決成立致しました。小山所長、田中議長さん、会員の皆様ありがとうございました。

新年度定期総会開催

岩槻支部 古暮 俊夫

親睦互助会岩槻支部「みどり会」は、5月26日、岩槻本丸公民館視聴覚ホールにおいて平成28年度定期総会を行いました。当日は参加者と委任状を合わせて約70%の出席率でした。

開会の冒頭、就業事故ゼロを目的に配布した筆記具セット(ボールペンとシャープペンシル)についての説明がありました。筆記具には「目指せ就業事故ゼロ」「共に願い共に守る」就業事故ゼロ」という言葉が印字してあります。みどり会役員会議の総意に基づき、

繰越金より引当として皆さんに配布したものです。最近増加している就業中の事故の防止に本気で取り組み、その成果を出したいという思いを込めてのものです。この筆記具を使用するたびに「安全」を意識してほしいとい



う願いが込められています。総会のはじめに、これらの言葉を会長が大きな声で読み上げ、全員で確認し、安全意識の高揚を図りました。

続いて本年度喜寿を迎える会員32人にお祝い金の贈呈が行われました。

議事は、昨年度の事業報告及び決算報告と監査報告、本年度の事業計画と収支予算の提案と進みしました。議事の最後に任期満了に伴う新役員の選任についても提案され、すべての審議が円滑に進み、提案事項もすべて承認されました。議事終了後のアトラクションで

は、ピアノの演奏、唱歌や替え歌の「ボケない小唄」を全員で合唱、最後にドンパン会による踊りで盛り上がりました。緊張した議事後で、楽しくホッとした時間を過ごすことができました。

春の日帰り旅行

浦和支部 畑 佳一朗

5月12日(木)と20日(金)の2回に分け「自慢の日本酒試飲と内房海の幸、東京湾横断クルージングと百万本のポピー鑑賞の旅」を実施しました。参加者は12日71名、20日34名で合計105名でした。

秋の旅行実施が多かった中、今年には花を楽しもうと前年度から計画を立て、春の旅行実施となりました。

午前7時30分には全員が集合。渋滞に巻き込まれることもなく旅が始まりました。東京湾アクアラインで気持ちのいい広い空と海、富士山を遠望しながら一休み。最初に訪れたのは、富津市「ソムリエハウス酒匠の館」。大吟醸「東魁盛」や約20種類の試飲を楽しみました。楽しみの昼食は、人気の「保田漁協直営食堂ばんや」で海鮮定食、中高年には懐かしいクジラも出され美味しかったです。午後は、房総半島金谷から三

浦半島久里浜へ、気持ちのいい海風をうけながらの東京湾横断クルージング。久里浜到着後は「くりはま花の国」へ、咲き誇る100万本のポピーとソフトクリームを満喫し帰路へ。車中は外れなしのビンゴゲームを楽しみ、時間の過ぎるのも忘れていたうちに定刻に帰着しました。今回は、両日とも天候に恵まれ、とても良い旅行ができました。


かかあでんか
 嬭天下のお膝下へ

与野支部 小島 一夫

旧い話で恐縮です。平成26年に世界産業遺産に認定され、落着く迄我慢していました。平成27年の研修旅行で実現しました。秋も晩秋。11月22日。会員49名を乗せて定刻に出発です。向かうは上州富岡です。

明治5年に操業され昭和62年停止迄、115年もの長きにわたって、日本の産業文化をけん引して来た事は偉大な事です。正門入ってすぐの建物東置繭所入口のアーチに明治5年のキーストーンが掲げられています。左側に長さ140mの建物が操糸所で、停止当時のままに機械が保存されています。また製糸所の設立や働く工女さんらに埼玉県人が関与していた事を忘れないでほしい。

ここ甘楽地区はコンニャク、ネギの名産地、近くのコンニャクパークを見学、種々様々なコンニャクの試食、生芋からの黒っぽい物、粉からの白い物、の2通りの製品

があります。昼食は下仁田町でコンニャク三昧の会食になりました。お腹が一杯になったところで、山道を妙義山(白雲岳)中腹に鎮座まします妙義神社へ参詣、千五百年の歴史を誇る荘厳さをもし出しています。

甘楽PAより一路埼玉へ。夕やみが迫っています。お疲れ様でした。再見！



賠償保険の免責について

平成28年4月号会員ニュースに「シルバー保険について」の記事を掲載しました。その経緯についてご説明いたします。

現在、傷害事故と賠償事故に備えてシルバー保険に加入をしております。

そのうち、賠償事故については、昨年度まで管理財物(※1)のみ免責金額1万円(※2)となっていました。が、**今年度より、賠償事故にかかるすべての事故を対象に免責金額1万円がかかる事になりました。**

この背景といたしましては、さいたま市シルバー人材センターの事故が増加し、なおかつ支払われる保険金額も年々増加している中、今年度の賠償保険契約にあたり、引受け保険会社から免責金額1万円の設定が求められました。会員の皆様にはご負担を掛ける事になりますが、保険加入の必要

性もご理解いただき、何よりも事故防止に努めていただきますよう

よろしくお願いいたします。

※1 管理財物とは…発注者から一時的にお預かりした襖、鍵、刃物研ぎの包丁等

(人から預かったものを誤って傷つけたり、壊したり、汚したり、あるいは盗まれたりして、預けた人に元の状態では返却できなくなった場合)

※2 免責金額とは…事故を起こした会員が負担する金額

「目指せ就業事故ゼロ!!」



平成27年度事故発生状況

平成27年度は傷害事故が20件、賠償事故が28件発生し、合計48件の事故が報告されました。

前年と比較すると傷害事故は3件、賠償事故については7件も増加しています。

少しでも事故を減らせるよう、就業現場への行き帰り・就業中は常に安全に心がけるようお願いいたします。

傷害事故

その他	9
植 木	5
就業途上	5
除 草	1
合 計	20

賠償事故

除 草	12
その他	9
植 木	5
家事援助	2
合 計	28

表紙

「芝 川」

芝川は、さいたま市の見沼たんぼを流れる一級河川で、荒川水系荒川の支流の一つです。

急激な都市化のさいたま市にあって、いつまでも残しておきたい自然豊かな見沼たんぼの景色です。

編集後記

今号は「安全」「事故防止」の視点から編集を進めました。事故ゼロへ向けて、少しでも参考となる内容がありましたでしょうか。

また、会報「さいたまシルバー」は本号で30号となり、一区切りを迎えました。今後、読みやすく、分かりやすい紙面、正確な情報と話題提供できる紙面となるよう工夫を重ねたいと、編集委員一同、気持ちを新たにしました。

(編集委員会)